

2020年5月海洋観測結果について

4月30日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

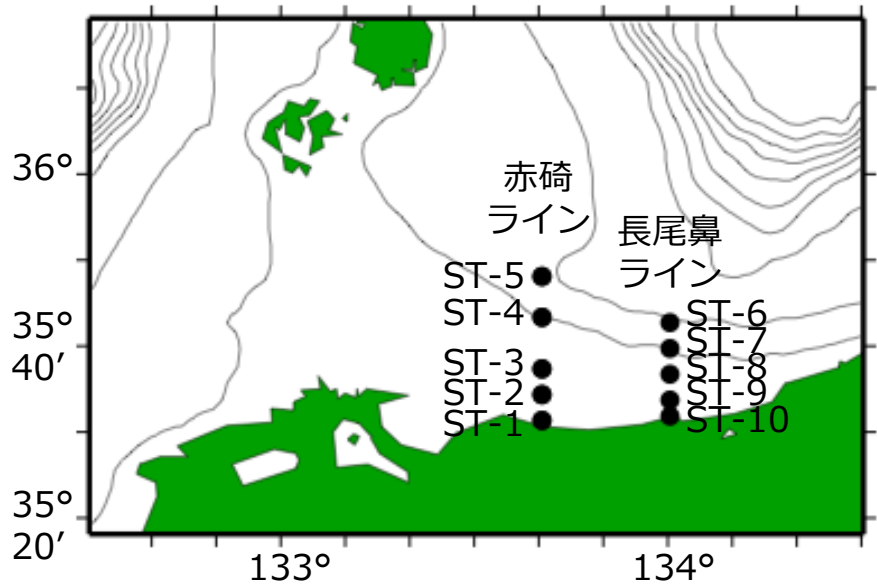


図1 観測定点

【鉛直分布図】

4月観測（3月末に実施）では発達した混合層が確認され、水深0-100mの海水温は概ね13-14℃となっていました。5月観測時点でも引き続き混合層は確認され、水深0-100mの海水温は概ね13-15℃となっています（図2：図中の数字は海水温）。

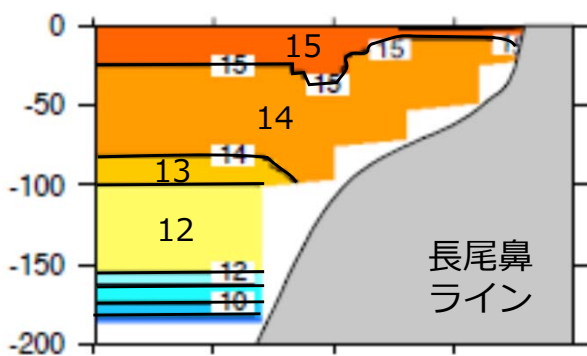
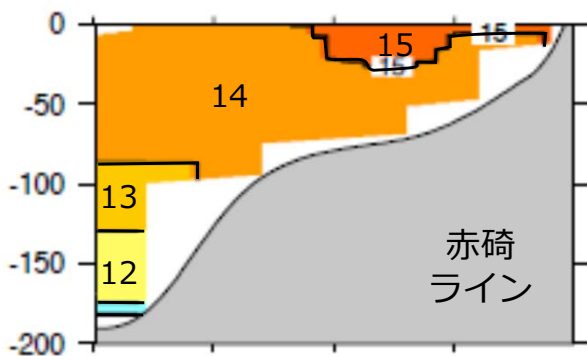


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

★操業に注意★

トガリサルパと思われるサルパ類（500円玉台のゼラチン質で茶色い目玉のようなものがある）が水深50-80mで多く発生しています。

小型底びき網で大量入網しますと網が揚がらない等、操業に支障をきたす可能性があります。ご注意ください。

【5月観測の水深帯別の比較】

2020年4月観測時点は、平年（2020-19年平均）より0.7-1.6℃高い水温でしたが、5月観測時点では、0.0-0.5℃高い水温となり、平年差が縮小しました（表2）。なお、4月に入り気温が低く、海況も悪い日が多かったため、前年より低い水温となっています。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2020年	15.1	14.7	14.5	14.0	14.9	14.8	14.7	14.2
前年	15.4	15.0	14.8	14.5	15.6	14.9	14.8	14.4
2010-19年平均	14.7	14.3	14.1	13.7	15.0	14.3	14.2	13.9
平年差	0.3	0.4	0.4	0.3	0.0	0.5	0.5	0.3

【2020年2月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの2月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を大きく下回った魚種は、サワラ、スルメイカで、前年、5年平均を大きく上回った魚種はブリ（ハマチ銘柄）、ヒラマサでした。

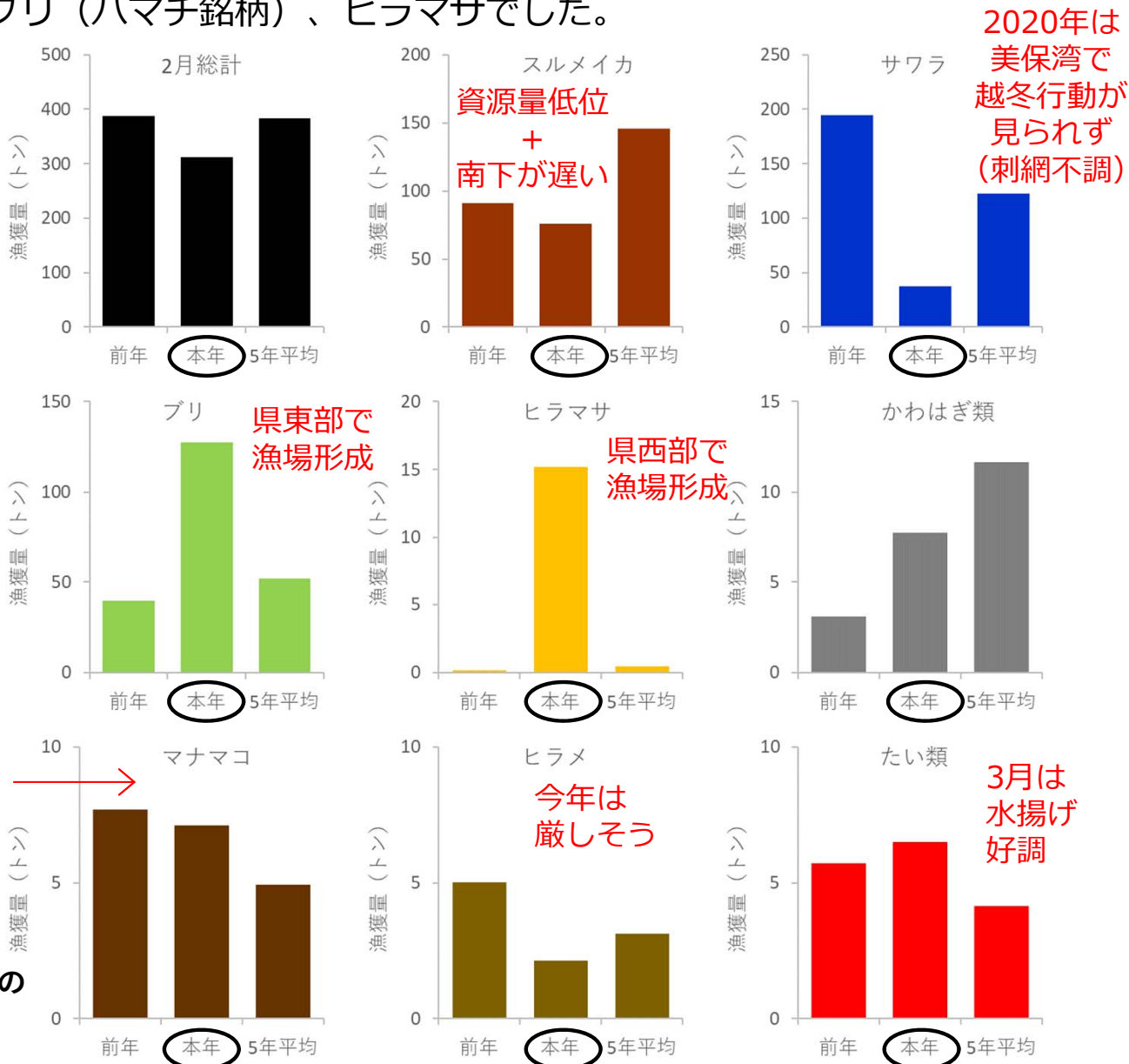


図3 2月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況